



強化練習風景

## 選手強化練習に35名が参加! 1月20日 熊本市龍田体育館

今年の正月明けから、選手強化委員会が中心となり6日、13日、20日の3日間、ジュニア、一般合同の強化練習会が行われた。最終日の20日は、龍田体育館に35名が参加キョルギ中心のメニューに寒い中、熱心に取り組んでいた。

## 県協会・国技院で登録証授与される 2月8日 韓国・国技院

樋口会長は、段申請の問題等を昨年、国技院で協議したが、今回、国技院を再度訪問して段申請関係者と面談、日本での申請方法について意見を交わした。国技院は、国際師範等の資格を持ち、実績のある個人・道場等に対して国技院メンバー登録証を発行しているが、今回、樋口会長についても登録証の発行がなされた。



国技院・登録証授与

## 東アジアのテコンドー振興で協議 2月9日 韓国・大田市



県協会と十年に亘り、交流を行っているオノギョク教授(前忠清大学教授)と、今回、韓国を訪れた際、オ教授が昨年発足した東アジアのテコンドー振興のための会についての説明を受けるために、大田で関係者数名と面談した。

会は正式には「東アジアテコンドー連盟」として親善交流を主としての組織であり、世界連盟、アジア連盟等の競技団体ではなく、その組織形成、目的が異なっている。社団法人化され今後は各国間の交流を行う予定で本部は、忠清北道に置かれる。

オ教授・役員との記念撮影

## 全日本に向け中山、阪上両名・韓国で強化合宿! 2月12~16日

2月24日の全日本選手権に向けて、学園大の中山北斗選手、阪上弘一選手が韓国、豊生高で強化合宿を行った。同校には、阿蘇支部から西村純選手も留学中であり、約1週間の本場での強化練習は、来る全日本選手権での中山、阪上両選手と、西村選手の韓国留学の成果に期待がかかる。

また、県協会からは、重量級のベテラン牧野信一選手(玉名)、新鋭の土師正稔選手(熊大)、三度目の優勝に挑む津田ひかる選手(学園大)が出場する。



韓国・豊生高・李キョンベ先生と

## 俳優、藤岡弘さんサプライズ誕生会! 2月23日 熊本市

俳優で、あの初代仮面ライダー「藤岡弘」さんを祝うサプライズ誕生会が熊本市内の飲食店で行われ、県協会広報委員でもある樋口久美子さんと樋口会長が参加した。久美子さんが、昨年のテレビ番組で藤岡さんのインタビュアーだったのがきっかけで、参加したが、武道家としても知られる藤岡さん樋口会長とテコンドー、武道談義で盛り上がった。

会には、68名の有士が集まり、樋口会長とも長年の知り合いである芦北鉄砲隊の平江さんが発起人として、熊本が大好きな藤岡さんのサプライズ誕生会を企画した。藤岡さんは、「今日で67歳になりますが、熊本の人たちの心優しさに感無量です」と語った、今後益々のご活躍を祈念したい。

## 長嶺支部コミセン祭りで演武! 3月31日 長嶺地域コミュニティセンター

昨年6月にオープンした長嶺支部、現在7名の道場生が熱心に練習に取り組んでいるが、今回、長嶺地域コミュニティセンターで行われている文化、スポーツの各教室がそれぞれの団体の紹介と交流を行った。

テコンドーは、渡辺宏臣副支部長が指揮をとり、基本蹴り、ミット蹴り、板割りの演武を披露、初めて見る迫力の演武に会場は大いに沸いた。



板割り 飛び蹴り

# テコンドーくまもと Vol.40

## TAEKWONDO KUMAMOTO

2013.1▶2013.4



ブレイク国際オープン優勝 森永選手

## 津田ひかる選手 優勝! 阪上・牧野・西村選手は準V 第6回全日本テコンドー選手権大会 2月24日 東京駒沢オリンピック公園体育館



津田理事と津田ひかる選手

入賞選手

本年度の全日本選手権大会は、駒沢オリンピック公園体育館に全国から各地区予選会を勝ち抜いた選手が会し、盛大に開催された。

今回、県協会からは、6名の選手が出場、女子-46kg級で津田ひかる選手(学園大)が2年ぶり4度目の優勝を飾った。また、阪上弘一選手(学園大)は、昨年の全日本から一階級を落とした-68kg級で、ベテラン牧野信一選手は(玉名)+87級、韓国留学中の西村純選手は-54kg級でそれぞれ準優勝に入る好成績を収めた。-54kg級に出場の中山北斗選手は、神奈川の村上選手に惜しくも1ポイント差で敗れ、上位進出は出来なかった。-68kg級で初出場の土師正稔選手は初戦で新潟の選手に敗れた。

電子防具使用での大会、慣れない防具使用の中、県選手の大健闘に拍手を贈りたい。

## 第13回城北オープンテコンドー選手権大会 3月3日 合志市ヴィーブル

第13回城北オープンテコンドー選手権大会は、県内各支部、大学、福岡などから127名が参加して開催された。

開会式では、蔵原博敏大会会長、細江順一福岡テコンドーアカデミー会長からの挨拶に続き、先月東京で開催された、全日本選手権大会で入賞した選手に、県協会から表彰状が贈られた。サプライズゲスト「くまモン」がステージ上に登場し会場はざわめいた。そして何と板割りに挑戦。見事に足で板を割り、会場からは歓声と拍手が。その後、くまモン体操を全員で行い、くまモンとの記念撮影の後に競技が開始された。

今回は、初級、中級、上級等の階級区分を実施し、それぞれの階級で熱戦が繰り広げられた。最優秀選手には、地元、合志支部の山本裕輔選手がジュニアの部で、一般の部では坂本百合奈選手(菊池)が選ばれた。

県協会今年最初の大会は、くまモン登場で大いに盛り上がりを見せた。



最優秀選手の山本、坂本選手

くまモン板割り成功!



※大会結果の詳細はホームページに掲載

# タイガーカップ!県ジュニア選手3名が優勝! 1月31日 長崎県三菱重工総合体育館

第11回タイガーマスターズカップテコンドー大会は、九州各県から220名が出場して開催された。県協会からは、熊大・阿蘇支部など30名が出場、中学女子の部で西村真利愛選手、小学6年女子で山本悠奈選手、小学4年男子で富田大翔選手の阿蘇支部ジュニア選手が優勝を果たした他、17名が3位内入賞を果たした。また、ブンセ競技では2名が3位となる好成績を収めた。



瀬崎選手 VS 牧野選手



ジュニアの試合



西村真利愛選手 敢闘賞受賞

# プーケット国際オープン 森永修斗選手(武道館)優勝! 廣田龍信選手は3位入賞 1月26~27日 タイ国 プーケット

第1回プーケット国際チェヨンスク・オープン大会は、20ヶ国約1500人が参加して、盛大に開催された。

県協会からは、樋口清輝監督以下一般の部に津田輝史朗選手、神垣貴晶選手、ジュニアに原田大地選手、廣田龍信選手、森永修斗選手が出場し、森永修斗選手がジュニア11歳~12歳Aクラスでタイ選手に11対3で圧勝し優勝した。

また、廣田龍信選手も3位入賞、原田大地選手は初戦でタイ選手に勝ったが、2回戦で惜しくも敗退、津田輝史朗選手もタイの選手相手に攻勢に試合を進めたが、惜しくも7対4で敗退、神垣貴晶選手も初戦でタイ選手に敗れ上位進出は出来なかった。タイは、テコンドーのレベルも高くナショナルチームも参戦した中、津田、神垣両選手は健闘し、いい経験を積んだ事に違いない。また、ジュニア選手も廣田選手を除く、森永、原田選手、初の国際大会経験で一段と今後の練習に熱が入るだろう。



廣田龍信選手



森永修斗選手



熊本選手団

# 玄武会オープン!西田亮選手(不知火)最優秀選手に! 4月14日 福岡県嘉麻市嘉穂総合体育館

第13回となる玄武会オープン大会は、福岡、九州各県、島根県などから185名が参加して盛大に開催された。

昨年から大会に参加している熊本県選手団は阿蘇・大津・不知火・熊大から22名が参加、男子統合フェザー級で西田亮選手(不知火)が優勝、最優秀選手賞を受賞した他、女子統合フライ級で坂本百合奈(菊池)小学3年女子で増田愛奈選手(大津)がそれぞれ優勝、またブンセの部では、一般有級の部で元満文音選手(熊大)小学生有級の部で田北歩夢選手(阿蘇)が優勝を飾った。



米田優選手



増田愛奈選手



最優秀選手賞の西田亮選手と不知火選手団



# 熊大テコンドー部・鹿児島フルマラソンに挑戦! 1月13日



マラソン大会の様子

ここ数年、フルマラソン参加を恒例行事にしている熊大テコンドー部、今年も挑戦し見事完走!また一つ、テコンドーでの思い出が増えた瞬間でした部員のコミュニケーションも上がり、今年の活躍が期待される。お疲れ様でした。

# 日本一の階段上りに挑戦!水前寺、川尻支部 1月13日 美里町

毎年、恒例の水前寺支部、川尻支部合同での「日本一の階段上り」。今年も両道場と託麻支部からの特別参加でジュニア道場生を中心に3333段を駆け上がった。その後、近くの公民館で川尻支部の保護者の皆さんの温かい豚汁をごちそうになり「じゃんけんゲーム」等で盛り上がった。



# 全国優勝者報告会に阪上、廣田選手の2名が参加 1月13日 美里町



廣田、阪上選手

熊本県体育協会の主催で毎年行われる全国・国際優勝者報告会に、今年は昨年度の全日本選手権、全日本学生選手権を制した阪上弘一選手、全日本ジュニア選手権を制した廣田翔栄選手の2名が選ばれ、陸上、バドミントン、柔道等17競技団体の優勝者を祝った。来賓として元オリンピック選手の橋本聖子さんが、選手達を激励した。

# 熊日スポーツ賞 阪上、廣田の2名が授賞! 1月19日 熊本日日新聞社

昨年の全国・国際大会等で優勝した選手の中から厳正な審査によって選ばれた第43回熊日スポーツ賞に、県テコンドー協会からは全日本選手権-74kg級で優勝した阪上弘一選手と、全日本ジュニア選手権中学フェザー級で優勝した廣田翔栄選手の2名が奨励賞を受賞した。この日、8団体20個人にスポーツ賞が贈られたが、大賞はロンドン五輪で銀メダルに輝いたバドミントンの藤井、垣岩ペアが、団体は、全国高校総体、国体2冠の阿蘇中央高柔道部が授賞した。阪上、廣田の両名は昨年に続く授賞に大変喜んでいました。



廣田、阪上選手

# 新理事長に津田佳輝、城北地区事務局長が就任、 平成 25 年度前期理事会! 4月28日 県協会本部事務所

本年度の前期理事会は、県協会本部事務所10名の理事役員が出席して行われた。前年度事業報告、収支決算報告、監査報告、本年度事業計画等が審議された後に、今回、全日本協会の正会員を除名となった樋口悦夫県協会会長に代わり、津田佳輝常任理事が、県代表の正会員に選出された。また、北里勝義副会長が兼任していた理事長職も、津田氏が就任することが決議された。津田理事長は、「県協会の発展のために全力で頑張ります」と述べた。

樋口悦夫会長は、除名に関しては、現在、不当として弁護士と相談中であり、全日本協会に対しては、「今後も正しい組織運営を行う様、様々な方法を用いながら頑張りたい」と述べた。

会議には、1年4ヶ月に及び大病闘病中であつた八代支部長の窪田速男理事も元気な顔を見せた。会議終了後、窪田理事の快気祝いを兼ねて懇親会が行われた。



理事会の様子